

令和7年度公益社団法人京都府青少年育成協会 事業報告

令和7年度も、昨年度に引き続き、青少年健全育成の取組を進める標語(スローガン)『気づいてる？ あなたのまわりの あたたかさ』のもと、青少年をあたたかく見守り、その健やかな成長を支援する健全な地域社会づくりを推進するため、「令和7年度重点目標」に沿って、活動を展開することとしました。

今年度も、会員の皆様の御支援と、京都府をはじめとする関係行政機関、関係団体等にも御支援、御協力をいただき、多くの事業を進めることができました。特に、「第47回少年の主張京都府大会」や「家族ふれあい大賞」「第29回家庭の日絵画展」を京都府、京都府教育委員会等と共催で取り組み、また、令和8年1月には、「京都府青少年すこやかフォーラム」を開催し、60名を超える多くの方に参加をいただきました。更に、7月、11月には街頭啓発活動の実施、広報誌「わかもの京都」の2回にわたる発行、HPの更新等、広報、情報提供活動などにも重点を置いて、青少年育成府民運動の推進に努めました。

また、当協会が令和5年4月から引き続き指定管理者の指定を受けて管理・運営する「京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)」及び「宮津市B&G海洋センター」の各施設においては、利用者の減少や光熱水費等の高騰により、経営状況が非常に厳しくなっていますが、経費の節減や新たな取組も含め多くの事業の展開に努めました。

〈令和7年度重点目標〉

「家庭と地域の輪が育てる 心豊かな青少年」

～青少年をあたたかく見守る地域社会づくり～

- 1 青少年育成府民運動の推進
- 2 青少年の自主活動・社会参加の促進、活動支援
- 3 「家庭の日」運動の推進
- 4 青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進
- 5 会員団体との連携・活動支援
- 6 京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)の利用促進

公1 「青少年育成府民運動の推進事業」の実施状況

【重点目標1】 青少年育成府民運動の推進

1 青少年健全育成推進のための街頭啓発活動

「青少年の被害・非行防止全国強調月間(7月)」及び「秋のこどもまんなか月間(11月)」に呼応し、府内の会員団体(青少年団体等)の協力を得て実施している街頭啓発活動は、7月12日(土)に、イオンモールKYOTO(京都駅)において、11月2日(日)には、イオンモール高の原において、知事・高校生メッセージ、また、中高生による吹奏楽、合唱、書道パフォーマンスやダンスのミニコンサートと合わせて実施することができました。

また、昨年度に引き続き、11月3日(月・祝)に京都府立植物園で開催された「府民交流フェスタ」に協会のブースを設置し、「松ぼっくりでクリスマスツリーを作ろう!」に取り組み、昨年同様、200名を超える多くの方に参加をいただき、啓発活動を行うことができました。

更には、京都府と協働で、令和2年度から、7月と11月の全国強調月間に呼応して、「青少年健全育成啓発パネル展」に取り組んでいます。

(令和7年度の取組状況)

7月 10会場(⑥9会場)

＊京都府庁、宇治総合庁舎、宇治市役所、亀岡総合庁舎、舞鶴総合庁舎、丹後総合庁舎、
八木市民センター、マリーンプア、宮津市浜町ギャラリー、京丹波町役場

11月 8会場(⑥8会場)

＊京都府庁、京都市中央青少年活動センター、宇治総合庁舎、亀岡総合庁舎、綾部総合庁舎、
丹後総合庁舎、京都府立植物園、イオンモール高の原

※ 令和7年度「京都府PTA指導者中央研修会」の会場でパネル展等の啓発活動を行いました。

※ 7月に公用車を更新し、側面に「京都府青少年健全育成府民運動スローガン(気付いてる?あなたのまわりのあたたかさ)」や「マリーンプアのロゴ」等を掲示して、府内を様々な事業で1年間、約1万キロを走行することにより、広報の一環となっています。

2 「大人が変われば子どもも変わる運動」の推進

広報誌「わかもの京都(Vol.131)」からシリーズで「大人が変われば子どもも変わる」、「地域の子どもは地域で守り育てる」などをコンセプトとした啓発活動を展開しています。7年度は、138号でシリーズ7として、「大人へのメッセージ」を掲載しました。

(8年4月16日付け発行) 別添(138号)

【大人が変われば子どもも変わる運動】

- 1 「まず、大人自身が変わる」啓発運動の推進
- 2 「地域のおじさん・おばさん運動」の推進
- 3 「モラルの向上を目指した取組」の推進

3 青少年育成市町村民会議懇談会の開催

府内を4ブロックに分けて開催している「市町村民会議懇談会」は、全てのブロックで開催できました。

昨年度の事業の実施状況や今年度の事業計画等を情報交換することができました。

また、今年度も懇談会の後半にブロックを2つの地域(「綴喜・相楽」、「乙訓・南丹」、「中丹・丹後」)に分け、小規模単位で意見交換を行い、参加者からは近隣市町村の事業を詳細に知ることができ、発言できる機会も増え、充実した懇談会であったとの多くの感想をいただきました。

山城北ブロック(*1)	令和7年7月 2日(水)	パルティール京都	参加者 48名
山城南ブロック	令和7年9月17日(水)	京田辺市社会福祉センター	参加者 23名
中丹・丹後ブロック	令和7年9月 9日(火)	綾部総合庁舎	参加者 16名
乙訓・南丹ブロック	令和7年9月12日(金)	乙訓総合庁舎	参加者 21名

*1 山城北ブロックは、「宇治・城陽・久御山青少年健全育成推進協議会総会」の開催をもって懇談会の開催とさせていただいた。

4 「青少年育成市町村民会議訪問」の実施

コロナ禍で2年続きで懇談会が開催できなかったことを受けて、今後の青少年健全育成府民運動推進の一助とするため、令和3年度から、各市町村民会議を訪問し、役員の皆様方等と懇談を行いました。一昨年度で各市町村を一巡しましたが、「引き続き、実施してもらいたい。」との要望を多くいただき、継続することとしました。

また、協会からは、啓発活動、家庭の日絵画展、少年の主張京都府大会、京都府青少年すこやかフォーラムの開催など協会の事業について、各市町村民会議との連携・協働を要請しました。その後、各団体との活動の状況等について懇談しました。

各団体からは、

- ・自治会の加入減など、担い手づくりが課題となっている。
- ・消防団員数の減少、PTA活動の低下等、人や地域のつながりが薄くなってきている。
- ・「地域の子どもは地域で守り育てましょう。」をスローガンに、様々な活動に取り組んでいる。
- ・非行防止活動の一環として、夏祭りの際に、参加している子どもたちに声かけをすることで、地域全体で子どもを見守る意識を高めている。
- ・自分自身で行動する子どもが増えていると感じる。他とのつながりを持とうとしない。
- ・学校との連携が大切で、特に、一般の教職員の方に青少年健全育成市民会議の事業を理解・協力いただくよう働きかけたい。
- ・マリンピアを子供会等の事業で積極的に活用したいが、交通手段がネックになっている。マイクロバスの運用等、利用しやすい方法を検討いただきたい。

などの報告がありました。

【令和6年度訪問先】

京田辺市青少年問題連絡協議会、和束町青少年育成委員会、木津川市青少年育成委員会

宇治市青少年健全育成協議会、亀岡市青少年育成地域活動協議会、向日市青少年健全育成連絡協議会、

舞鶴子ども育成支援協会、宮津市青少年問題協議会

【令和7年度の訪問先】

城陽市青少年健全育成市民会議、井手町青少年を育てる会、精華町青少年健全育成協議会、
南山城村青少年育成協議会、長岡京市青少年健全育成推進協議会、福知山市青少年問題協議会、
京丹後市青少年健全育成会、与謝野町青少年育成会

【令和8年度の訪問計画】

久御山町青少年健全育成協議会、八幡市青少年育成補導委員会、宇治田原町青少年育成協議会、
笠置町青少年育成委員会、大山崎町青少年健全育成協議会、南丹市青少年育成協会、
京丹波町青少年育成協会、綾部市青少年育成連絡協議会、伊根町子どもの安全を守る連絡会

5 「青少年健全育成地域連携推進事業」の実施

(1) いじめ・非行防止フォーラムの開催

7年度も府内5つの教育局等と連携し、「いじめ・非行防止フォーラム」を共催・後援で開催しました。

乙訓(後援)	乙訓まなびフォーラム		
	11月15日(土) 京都府立西乙訓高校	参加者	130名
山城(共催)	山城未来っ子みんなでHUGフォーラム		
	6月22日(日) アスピア山城	参加者	250名
南丹(後援)	なんたん子育てフォーラム		
	6月22日(日) 京都医療科学大学	参加者	200名
中丹(共催)	みんなでコラボ in 中丹		
	6月21日(土) 大江町総合会館	参加者	190名
丹後(後援)	丹後PTA指導者研修会		
	6月1日(日) アグリセンター大宮	参加者	160名

(2) 京都府青少年すこやかフォーラム（市町村との連携）

青少年育成関係者みんなで「学び、考え、行動する」機会として、子どもたちへの危険性が増大しているスマホやインターネットの利用の現状について、あるいは、青少年の薬物乱用防止等について、自ら考える機会として、青少年育成市町村民会議や青少年(育成)団体等と連携・協働し、時機を得た内容でフォーラムを開催することとしています。

7年度は、舞鶴子ども育成支援協会と共催で、令和8年1月17日(土)舞鶴市政記念館ホールで「子どもが育つ第三の居場所」～みんなで育てる地域の宝(タカラ)～をテーマに開催した。(約60名の参加)

(概要) ・講演 NPO 法人生涯学習サポート兵庫 山崎清治 理事長
・意見交流(グループ別)

【この間のフォーラム開催経過等】

㊹ 京都市内2会場 350人 ㊹ 南丹市内 170人 ㊹ 京都市内と城陽市内 380人
① 舞鶴市内 250人 ②③ 亀岡市内 中止 ④ 亀岡市内 125人
⑤ 京都市内と綾部市内 200名 ⑥ 京都市内 90人

6 広報・情報提供事業の実施

(1) 広報誌「わかもの京都」の発行

協会の活動等を紹介する広報誌「わかもの京都」(定期号)を年1回(5,000部)発行し、会員団体等に配布しています。(Vol.138は令和8年4月発行)

また、市町村民会議や青少年団体の活動等を紹介する「わかもの京都」(臨時号)を発行します。(7月に「2025夏号」を、1月に「2026冬号」を発行しました。(web版))

(2) 協会ホームページによる情報発信の充実

※ 協会、各市町村の取組等を紹介するホームページのタイムリーな更新に努めました。(延べ 70回更新)

※ 協会ホームページにカウンターを設置しました。(令和2年10月4日)
(アクセス数: R 8.5.25現在 約800,000人のアクセス)

※ 昨年度に続き、少年の主張京都府大会の動画(YouTube)を協会ホームページに掲載しました。

※ 「家庭の日絵画展」の入賞作品や、「少年の主張京都府大会」の入選作品を掲載しました。

(3) 「家庭の日運動啓発カレンダー」を作成しました。(2,500部)

【重点目標2】 青少年の自主活動・社会参加の促進

1 「第47回少年の主張京都府大会」の開催

次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける健やかな成長が求められています。そのためには、広い視野と柔軟な発想や想像力などとともに、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身につけることが大切です。

子どもたちにとって、これらの契機となることを願い、第47回少年の主張京都府大会を開催しました。

(1) 応募状況及び入選・佳作人数

	応募校数	応募編	入選	佳作
㊸	38校	3,049編	16名	20名
㊹	29校	2,890編	15名	30名
㊺	32校	2,874編	20名	28名
①	32校	4,713編	16名	25名
②	23校	1,586編(推薦9校9編含む。)	17名	20名
③	34校	5,385編(推薦14校14編含む。)	16名	30名
④	33校	5,104編(推薦14校14編含む。)	17名	33名
⑤	38校	7,040編(推薦19校20編含む。)	15名	37名
⑥	35校	5,157編(推薦16校17編含む。)	15名	36名
⑦	34校	4,309編(推薦18校19編含む。)	15名	40名

(2) 入賞者等の選考

事前の審査委員会で発表者15名(編)と佳作40名(編)を選考しました。

また、9月13日(土)に京都市国際交流会館で開催した大会で、15名の主張発表を踏まえ、当日の審査委員会で京都府知事賞を始め各賞を決定しました。

京都府知事賞を受賞された亀岡市立育親学園9年秦 小羽音さんを、全国大会候補者として推薦したところ、全国大会発表者となり、国立青少年教育振興機構奨励賞を受賞されました。

(3) 大会参加者 130名

発表者、家族及び学校関係者等

(4) 市町村民会議等との連携(作文の「推薦制度」の導入)

多くの市町村で主張大会を取り組まれています、その市町村大会と京都府大会を連動させ、取り組みの広がり等に期待し、作文の推薦制度を令和2年度から導入しました。

※「推薦制度」 前年度の京都府大会以降、当該年度の京都府大会までの間に開催された市町村の大会で発表された中学生を、京都府大会に推薦することができます。

【市町村民会議等からの推薦状況】

②5市町 9校(9編)(向日市、久御山町、京田辺市、宇治田原町、与謝野町)

③④5市町 14校(14編)(京田辺市、宇治田原町、舞鶴市、宮津市、与謝野町)

⑤8市町 19校(20編)(城陽市、京田辺市、宇治田原町、精華町、相楽連絡協議会、舞鶴市、宮津市、与謝野町)

⑥7市町 16校(17編)(京田辺市、宇治田原町、精華町、井手町、舞鶴市、宮津市、与謝野町)

⑦8市町 18校(19編)(京田辺市、宇治田原町、木津川市、井手町、南山城村、舞鶴市、宮津市、与謝野町)

(5) 作品集の発行等

入賞作文を網羅した作品集(&絵画展)を2,600部作成し、関係機関等に配布しました。

また、京都府大会の主張発表を記録したDVDを400枚作成し、各中学校等に配布しました。

大会の動画(You Tube)を協会のHPに掲載しました。

(6) 中学校長会議等で取組の協力要請

京都市、乙訓・山城・南丹・中丹・丹後及び私立の各中学校長会議で取組の協力要請を行っていました。府立の附属中学校については個別に訪問し、協力要請しています。

2 京都府子ども議会(隔年開催)

令和7年度開催(8月6日(水)):協会は共催団体として運営等に協力しました。

【重点目標3】 家庭の日運動の推進

1 家庭の日運動の普及・推進

- (1) 協会は、青少年の健やかな成長にとって家庭の役割の大切さを再認識していただくため、毎月第4土曜日を「家庭の日」として、家庭の日運動を進めています。
「家庭の日」等に家族がふれあう「きっかけ」となるメニューを協会のホームページ等でシリーズで紹介するなど、家族で話す時間や機会を増やし、家族の思い出や絆づくりとなる取組を進めました。
また、広報誌「わかもの京都」、啓発用のチラシ、「家庭の日絵画展」入賞作品の巡回展示、協会ホームページ、公用車ボディー等で啓発をしています。
- (2) 「絵画展」事業の入賞作品を活用した「家庭の日運動」啓発カレンダーを2,500枚作成し、各小学校や関係機関等に配布しています。(㊤～)

2 家庭の日絵画展～「家庭の日」運動の普及啓発事業～

「家庭の日絵画展」事業は、令和3年度から、京都府の「家族ふれあい大賞」事業の絵画部門と統合し、『「家族ふれあい大賞」「家庭の日絵画展」』として、京都府・京都府教育委員会・(公社)京都府青少年育成協会の三者の共催で実施しています。

※京都府が、募集チラシを全児童分印刷し、各小学校等を通じ、児童に配布。

(1) 応募対象

府内の小学校及び特別支援学校小学部に在籍している児童

(2) 応募状況及び入賞・佳作人数

	応募校数	応募数	入賞	佳作
㊤(21回)	34校	336点	23名	15名
㊦(22回)	59校	479点	23名	16名
①(23回)	65校	673点	23名	22名
②(24回)	49校	483点	23名	35名
③(25回)	113校	706点	23名	48名
④(26回)	102校	839点	23名	43名
⑤(27回)	111校	796点	23名	34名
⑥(28回)	105校	737点	23名	52名
⑦(29回)	84校	548点	23名	40名

(3) 入賞者等の選考

選考を円滑に行うため、令和2年度事業から、選考委員会の前に、専門家による事前の選考を行っています。

協会の選考委員会(11月10日(月))を経て、京都府が設置する「家族ふれあい大賞審査委員会」(11月26日(水))で入賞作品を決定しました。

京都府知事賞は、京都市立伏見板橋小学校2年・泉水 信乃さん

個別賞(家族ふれあい大賞・「家庭の日」賞・まいにちがたからもの賞)15作品、優秀賞8作品、佳作40作品

(4) 入賞者(個別賞15名)の表彰式

令和8年2月21日(土)に京都ガーデンパレスで開催しました。

なお、優秀賞及び佳作の賞状は、当該児童の在籍小学校に届け、校長から伝達していただきました。

また、入賞作品の作品集(&主張大会)を2,500部作成し、小学校等に配布しました。

(5) 今年度の入賞作品の巡回展示

3月6日(金)、八幡市会場からスタートしました。

㊸7会場、㊹11会場、㊺16会場、㊻19会場、㊼19会場、㊽24会場

㊾25会場、㊿26会場、㊿26会場、㊿26会場

※㊿から佳作の児童が在籍する該当市町村に展示の協力を依頼しています。

(6) 取組の協力要請

京都市、乙訓、山城、南丹、中丹、丹後、私立の各小学校長会議で児童への周知や作品のとりまとめ等についての協力要請を行っています。

【重点目標4】 青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進

1 青少年(育成)団体等との連携(取り組みへの協会の参加等)

㊸26団体 ㊹22団体 ㊺27団体 ㊻33団体 ㊼・㊽コロナ禍で、団体の取組が中止あるいはWeb開催となりました。 ㊾7団体 ㊿7団体 ㊿5団体 ㊿5団体

2 「京都子育て環境日本一推進会議」への参画

令和3年6月、京都府内の経済・労働団体や保育・教育機関、民間企業、行政など幅広い分野の団体が参加して発足した「京都府子育て環境日本一推進会議」に参画しています。令和7年度は、令和8年3月23日(月)に開催された「第3部会合同会議」に参加しました。

また、「子育て環境日本一」の主要事業「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」による京都府オリジナル「泣いてもかましまへん！」ステッカー等の配布等にも協力をしています。

3 京都府青少年健全育成審議会への参画

令和8年1月15日(木)に開催された審議会に出席しました。

4 京都府青少年健全育成功労者等知事表彰への協力(京都府事業)

青少年の健全な育成に多大な貢献のあった個人や団体、他の模範となる活動を行った青少年や団体の功績を讃え、青少年健全育成に対する社会の関心を高めることを目的として京都府知事が「青少年の健全な育成に関する条例」第11条により表彰する京都府事業に協力しました。

【表彰式】

・令和7年11月27日(木) 於、京都府公館

・受賞者 個人9名 団体3団体(協会推薦分)

【重点目標5】 会員団体との連携・活動支援

1 会員団体等の活動に対する助言・共催・後援等

㊼・㊽ コロナ禍で、団体の取組の大半が中止となりました。

㊾ 7団体 ㊿ 7団体 ㊿ 6団体 ㊿5団体

【令和7年度の後援等】

- ・舞鶴市中学生の主張大会 6/21(土) …後援(&会長メッセージ)
- ・第33回いのちの講演会 7/13(日)京都市呉竹文化センター …後援(事務局長・事業担当係長参加)
- ・京都府PTA指導者中央研修会 7/8(火)京都国際会館(会長・事務局長・事業担当係長参加)
- ・京都府社会教育研究大会 11/21(金)京田辺市中央公民館(事務局長参加)
- ・府民交流フェスタ(府立植物園) 11/3(月・祝) …(会長・事務局長・事業担当係長参加)

3 啓発資材の貸出等

月間横断幕、標語横断幕、啓発活動のぼり(各種)、啓発パネル、啓発活動ジャンパー・ベスト等の貸出や協会作成の啓発用チラシやポケットティッシュ(府薬務課)の提供を行っています。

【その他 法人の運営等】

1 公益社団法人の運営等

- 【総 会】 令和7年 6月18日(水) 京都府自治会館ホール
(臨時) 令和7年12月10日(水) 京都アスニー
- 【理 事 会】 第1回 令和7年5月28日(水) 京都府自治会館ホール
第2回 令和7年6月18日(水) 京都府自治会館ホール
第3回 令和7年11月14日(金) 書面決議
第4回 令和8年 3月19日(木) 京都アスニー
- 【監事監査】 令和7年5月16日(金) 協会活動室
- 【三役会議】 第1回 令和8年1月27日(火) 協会活動室
第2回 令和8年3月 5日(木) 協会活動室
出席者:会長、副会長、常務理事

2 財政基盤の充実

(1) 会員の加入促進(自主財源の確保)

正会員・賛助会員の会費収入が、協会の主だった自主財源です。

協会の理事等の協力を得て、会員(個人、団体)の加入促進を図ることとしています。

※ 正会員・賛助会員の現状(令和7年12月1日現在)

正 会 員 33名、54団体

賛助会員 35名、1団体

(2) 財源の確保

きょうと地域創生府民会議の補助金(㉨～㉥各年100千円(㉨を除く。)、㉦87千円、㉧80千円)

啓発活動の充実等に活用

㉧11月イオンモール街頭啓発活動に活用

(3) 日常的な経費の節減

ネット印刷の活用、公用車による啓発資料等の配付等

公2「青少年海洋活動施設管理運営事業」の実施状況

【重点目標6】 京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)の利用促進

○ 京都府立青少年海洋センターの部

1 概略

京都府から第6期指定管理者として指定を受け3年目が終わりましたが、府立青少年海洋センターの管理運営業務を適正に遂行し、青少年の健全育成を図るため、小学校・中学校・高等学校等教育機関をはじめ、青少年団体及び青少年スポーツ団体の理解と協力を得て施設利用の拡大に努めました。

しかし、宿泊施設利用人数は、大阪万国博覧会やバス運賃の高騰、教職員の働き方改革等の影響と予約キャンセル団体も多くなったことが響き、全施設利用者数・宿泊人数・利用料収入ともに大幅な減少となりました。さらに、物価高騰(燃料費・光熱水費)の影響もあり、その結果、収支決算が債務超過となり経営改善に向けた対策が必要となりました。

そのような中、2月・3月には過去利用があった団体や学校へ直接訪問し来年度以降に繋がるよう営業活動に努めました。

2 宿泊施設等の利用状況

(単位:人)

施設名	令和7年度	令和6年度
宿泊施設	12,463	13,969
研修施設	8,768	8,800
フリースペース	1,823	2,608
ボルダリング場	938	938
トレーニング場	498	553
フィールドアスレチック	3,112	4,355
野外炊事場	3,636	4,637
カッター附属設備	5,611	6,603
合計	36,849	42,463

3 利用促進及び広報活動等

- (1) 京都府道路公社発行の「沿線ガイド」お出かけスポットに毎月掲載(現在も毎月掲載中)
京都銀行・カーディーラー等、約 150 店舗に配架
- (2) ホームページから公共施設案内予約システムにより空き状況を提供
- (3) フェイスブック・インスタグラムによる施設のPR
- (4) 2025 年度大学生協の宿泊プラン「合宿・ゼミ旅行の宿」インターネットWEB版及びパンフレット縮刷版に掲載
(印刷紙媒体の縮小)
- (5) 近隣観光協会とタイアップし地元産業等を活用しプログラムを充実
- (6) キャッシュレス決済の提供、利用の増加 全 57 件 4,713,486 円(前年度 48 件 4,034,571 円) 116.8%

- (7) 大学生協等訪問による営業活動(加盟 14 店舗 未加盟 1店舗 大学学生課 3校)
- (8) パンフレット配付及び送付(大学課外活動担当 3ヶ所 95 部・京都府スポーツ協会 250 部・高校野球連盟 70 部)
- (9) 神戸市立中学校 訪問によるパンフレットを配付(83 校)
- (10) 京都府下各教育局管内の小中学校校長会にて施設 PR 及びパンフレットを配付

4 感染症予防及び熱中症予防の具体的な対策と措置

- (1) 利用者の安心・安全を守る観点から、基本的感染対策を引き続き実施しました。
- (2) 手指アルコール消毒液の設置を継続しました。
- (3) 暑さ指数計を活用し、活動場所の指数を計測して判断材料としました。
- (4) 水分補給ができるように準備を行いました。

5 主催事業・共催事業等

本年度は追加1事業を加えた 13 事業を実施しました。

事業名	実施日	参加人員	内容等	収入額
カヌー体験	①令和7年7月 12 日(土) ～13 日(日) ②令和7年8月 30 日(土) ～31 日(日) ③令和7年9月6日(土) ～7日(日)	①4家族9名 ②3家族7名 ③3家族11名	漕艇方法の習得・水 辺の安全教室 MEGA SUP 体験	①38,390 円 ②29,690 円 ③43,919 円
共催事業 赤十字水上安全法 救助員養成講習Ⅱ	令和7年8月 29 日(金) ～8 月 31 日(日)	延 32 名	救急法・水上安全法 等講習会	121,104 円 利用料収入計上
カッターで釣り体験	令和7年9月 20 日(土) ～21 日(日)	2家族9名	カッターの漕艇方法 の説明、釣りの仕掛 け説明と準備、釣り体 験	39,520 円
(日帰り) 投げ釣りチャレンジ	令和7年 10 月 19 日(日)	2家族5名	釣り場でのマナー説 明・投げ方習得・水 辺の安全教室・釣り 体験	9,500 円
家族利用 DAY	① 令和7年 11 月 1 日(土) ～2日(日) ② 令和7年 12 月6日(土) ～7日(日)	①3家族 11 名 ②2家族7名	家族単位での宿泊 体験	①22,390 円 ② 7,070 円
(日帰り) 火起こしチャレンジと 落葉で焼き芋体験	令和7年11月15日(土)	5家族 13 名	火起こし体験と焼き 芋作り	13,740 円
(日帰り) マリーニピアでクリス マス	令和7年 12 月7日(日)	約 130 人	海上保安学校音楽 隊・宮津天橋高校加 悦谷学舎合唱部他 による体育館コンサ ート、クラフト・模擬店 販売	

地域スポーツ団体合同事業「親子のつどい」	令和8年1月 17 日(土) ～18 日(日)	クラブ員・保護者 61 名	親子交流会・フクラフト作成・凧揚げ体験・合同練習	142,520 円
(日帰り) 凧作り・凧揚げ大会	令和8年2月 15 日(日)	3家族 10 名	凧作り・凧揚げ	3,500 円

追加事業

事業名	実施日	参加人員	内容等
第5回 宮津田井海まちフェスタ	令和7年 10 月5日(日)	約 250 名	ボルダリング・トレーニング機器 無料開放、キッチンカー、地元 漁業組合による鮮魚販売、PR ブース他

6 その他の諸活動

- (1) きょうと子育て応援パスポート事業の実施に伴いフィールドアスレチック・ボルダリングの利用料を免除することにより、家族のふれあいの場を提供しました。
- (2) 京都府消防団応援の店に登録し利用料の減免措置を適用しました。
- (3) 定期的にセンター前浜公園や浜海岸の清掃を実施し環境美化に努めるとともに、剪定作業をはじめ、ペンキ塗装・薪づくりを職員で行い経費節減に努めました。
- (4) 施設利用団体からアンケートを収集し、利便向上やニーズに応じたサービスを心がけるように努めました。
- (5) 主な会議と研修等

日付	項目	会場など
4/22	京都府山城地域校長会	京都府総合教育センター
5/7	カッター曳航訓練	田井宮津ヨットハーバー
5/9	令和6年度京都府立青少年海洋センター状況報告会議	京都府立青少年海洋センター
5/16	京都府青少年育成協会監事監査	京都府青少年育成協会活動室
5/27	令和7年度企業内人権啓発推進員研究会 京都府企業内人権問題啓発セミナー	メルキュール京都宮津リゾート&スパ
5/28	京都府青少年育成協会第1回理事会	京都府自治会館ホール
6/18	京都府青少年育成協会 定時社員総会	京都府自治会館
6/18	京都府青少年育成協会第2回理事会	京都府自治会館
7/9	救急法講習会	京都府立青少年海洋センター
7/9	宮津田井にぎわいづくり実行委員会	宮津市教育総合プラザ
7/18	大学生協訪問	大阪・京都・神戸
8/20・9/2	宮津田井海まちフェスタ会議	京都府立青少年海洋センター
9/9	青少年育成市町村民会議懇談会(中丹・丹後)	綾部総合庁舎1F 会議室
9/12	青少年育成市町村民会議懇談会(乙訓・南丹)	乙訓総合庁舎
9/17	青少年育成市町村民会議懇談会(山城Ⅱ)	京田辺市社会福祉センター

9/26	宮津田井海まちフェスタ打合せ	京都府青少年海洋センター
11/3	府民交流フェスタ	京都府立植物園
11/17	第2回宮津市港湾ビジョン策定会議	ミップル
11/25	第1回消防訓練	京都府立青少年海洋センター
12/10	京都府青少年育成協会臨時社員総会	京都市生涯学習総合センター
12/11～/12	大学生協訪問	滋賀・京都・大阪・神戸
1/26	第2回宮津市港湾ビジョン策定会議	宮津消防署
1/27	第1回三役会議	京都府青少年育成協会
2/16	大学生協・大学訪問	京都市内
2/18	高校訪問	出石高校・緑風高校
2/24	中丹教育局管内小中学校校長会	京都府総合教育センター北部研修所
2/25	乙訓教育局管内小中学校校長会	乙訓総合庁舎
2/25	田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会	ミップル コミュニティールーム
3/2	中学校訪問(18校)	神戸市
3/5	第2回三役会議	京都府青少年育成協会活動室
3/6	中学校訪問(16校)	神戸市
3/10	第2回消防訓練	京都府立青少年海洋センター
3/11	中学校訪問(13校)・大学生協(2店舗)	神戸市
3/19	京都府青少年育成協会第4回理事会	京都市生涯学習総合センター
3/19	中学校訪問(17校)・大学生協(1店舗)	神戸市
3/23	中学校訪問(11校)	神戸市
3/26	中学校訪問(8校)・大学生協(3店舗)	神戸市
3/27	宮津湾にぎわいづくり実行委員会	ミップル

(6) 訪問活動等による営業成果(新規予約)

令和8年度

学校名・団体名	予約日程	延べ人数	備考
京都府立綾部高等学校 由良川キャンパス	日帰り	42名	パンフレット送付
京都工学院高等学校 硬式野球部	3/30～3/31 1泊2日	28名	チラシ配布
敦賀気比高等学校 男子バスケットボール部	3/27～3/29 2泊3日	42名	チラシ配布
京都トライアスロンクラブ	4/25～4/26 1泊2日	15名	電話営業
神戸市立桃山台中学校	5/12～5/14 2泊3日	220名	訪問
神戸市立唐櫃中学校	5/18～5/19 1泊2日	45名	訪問
立命館大学 文学部オリター団下見	5/23～5/24 1泊2日	12名	訪問
立命館大学 文学部オリター団	6/20～6/21 1泊2日	70名	訪問
立命館大学 国際関係学部オリター団	6/13～6/14 1泊2日	60名	訪問(仮受付)

京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎	7/23～7/24	1泊2日	70名	訪問
大山崎町立第二大山崎小学校	9/10～9/11	1泊2日	55名	乙訓地区校長会
舞鶴市立福井小学校	9/10～9/11	1泊2日	20名	中丹地区校長会
長岡京市立長岡第九小学校	9/16～9/17	1泊2日	95名	訪問
大山崎町立大山崎小学校	9/17～9/18	1泊2日	110名	乙訓地区校長会
清水ミニバスケットボールクラブ	9/19～9/20	1泊2日	60名	チラシ配布
神戸市立鈴蘭台中学校	10/29～10/30	1泊2日	114名	訪問

令和9年度

学校名・団体名	予約日程	延べ人数	備考
長岡京市立長岡第八小学校	6月 1泊2日	110名	訪問
京都外大西高等学校	6月 2泊3日	300名	定期連絡
神戸市立広陵中学校	5/18～5/20 2泊3日	260名	訪問
京都府立洛北高等学校附属中学校	6月 1泊2日	120名	電話営業
大阪市立成南中学校	9月 1泊2日	115名	チラシ配布

(7) 主な施設整備補修等

事務室・食堂・厨房照明器具取替(LED化) (京都府執行)	デマンド監視システム・警報装置取替
高圧電気室・宿直室照明器具取替(LED化)	フィールドアスレチック⑬ワイヤー交換
カッター3号艇 舵・座席修理	フィールドアスレチック小修繕修理 全13件
カッター2号艇 右舷櫂座修理	正面玄関自動ドアセンサー交換修理
厨房冷蔵庫ファンモータ交換修理	方向性SOG制御装置取替
浴室ろ過機制御盤修繕	案内所男子トイレ手洗給水配管修理
男子ロッカー室排煙窓修理	駐車場及びアスレチック裏山高雑木伐採
カッター船台修理	宿泊室畳一部補修
指導艇船台修理	男子・女子浴室混合水栓交換
サンタマリア シロアリ駆除防除	非常用発電機冷却液交換
監視室・機械室制御盤スイッチ取替	ロッカー室 シャワー給湯バルブ修繕
トレーニング場 トレッドミル修理	芝生広場 芝一部張替え
非常灯直流電源制御装置取替	食堂入口ドア ヒンジ修理

○ 宮津市B&G海洋センターの部

1 概略

スポーツを通じて青少年の健全育成及び観光の振興を図る施設として、従来から主に京都府立青少年海洋センターの宿泊団体(研修・野外活動・観光)及び利用者の施設として有機的に連携し有効利用に資すること、更には地域住民の「コミュニティづくり・健康づくりの拠点」及び「海の京都」におけるスポーツ観光の振興拠点として施設提供に努めることを基本としています。

利用人数は平年並みの利用者数の月もありましたが、大阪万国博覧会やバス運賃の高騰、教職員の働き方改革等の影響があり、昨年と比べ6月、7月、9月、10月の学校団体の利用が減少しています。

特に2月および3月においては、大型団体の利用中止もあり、利用人数が半減しています。

そのような中、2月および3月には、過去にご利用いただいた団体や学校へ直接訪問し、来年度以降の利用につながるよう営業活動に努めました。

また、青少年海洋センターのホームページを活用し、PR・広報活動にも取り組みました。

2 施設利用状況

		令和7年度	令和6年度
体育館	件数	320 件	361 件
	人数	18,390 人	20,037 人
艇庫	件数	66 件	91 件
	人数	69 人	120 人

3 施設利用促進の取組

冷暖房設備の完備、レスリング備品一式の配備、宿泊施設の併設などレスリング合宿に最適な環境である「海の京都タックルアリーナ」として、京都府立青少年海洋センターと一体的な利用促進に努めました。また、宮津市所在の学校及び宮津市所在の各種団体の体育館利用料金は使用料免除措置を行い、地元地域の利用促進に努めました。

- (1) 2025年度大学生協の宿泊プラン「合宿・ゼミ旅行の宿」インターネットWEB版及びパンフレット縮刷版(印刷紙媒体の縮小)に掲載
- (2) ホームページ・SNSの活用宣伝
- (3) 全国大学生生活協同組合連合会加盟店8店舗、非加盟店1店舗、大学学生課1校の訪問
- (4) パンフレット配付及び送付(大阪・神戸中学校503校 大阪北地区小学校271校 大学生協及び課外活動担当 211カ所)
- (5) 京都市小学校長会及び京都府下各教育局管内の小中学校長会にて施設PR及びパンフレットの配付

4 感染症予防の具体的な対策と措置

- (1) 利用者の安心・安全を守る観点から、基本的感染対策を引き続き実施しました。
- (2) 手指アルコール消毒液の設置を継続しました。
- (3) 暑さ指数計を活用し、活動場所の指数を計測して判断材料としました。
- (4) 水分補給ができるように準備を行いました。

5 自主事業・合同事業

京都府立青少年海洋センターと連携しながら、屋外の田井宮津ヨットハーバーで活動するカヌーを使った事業や、地域コミュニティの場となる事業を実施しました。

事業名	期日	人員	内容等
カヌー体験	①令和7年7月 12 日(土) ～13 日(日) ②令和7年8月 30 日(土) ～31 日(日) ③令和7年9月6日(土) ～7日(日)	①4家族9名 ②3家族7名 ③3家族 11 名	漕艇方法の習得・ 水辺の安全教室 MEGA SUP 体験
(日帰り) マリンピアでクリスマス	令和7年 12 月7日(日)	約 130 人	海上保安学校音楽隊・宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部他による体育館コンサート、クラフト・模擬店販売
地域スポーツ団体合同事業「親子のつどい」	令和8年1月 17 日(土) ～18 日(日)	クラブ員・保護者 61 名	親子交流会・フクラフト作成・凧揚げ体験・合同練習
(日帰り) B&G宮津市ジュニアレスリング教室	令和8年1月 31 日(土)	約 72 名	地元レスリング教室の協力

追加事業

事業名	予定日	参加人数	理由
第5回 宮津田井海まちフェスタ	令和7年 10 月5日(日)	約 250 名	ボルダリング・トレーニング機器無料開放、キッチンカー、地元漁業組合による鮮魚販売、PR ブース他

6 その他

B&G財団が取り組む『水辺の安全教室』として利用団体のカッター活動時には、ライフジャケットの重要性を説明し、カヌー体験ではライフジャケットを利用した推奨泳法や、浮遊体験を行いました。

施設メンテナンス・修繕としては、体育館空調フィルター清掃と体育館屋上の雨漏り対策を実施しました。

7 主な会議及び研修等

	期日	会場	出席者等
令和6年度 京都府地域海洋センター連絡協議会監査	令和7年4月14日(月)	京都府立青少年 海洋センター	京丹波町職員1名
令和7年度 京都府地域海洋センター連絡協議会総会	令和7年5月13日(火)	和東町役場	B&G所長、職員1 名、宮津市職員1 名
令和7年度 近畿ブロック地域海洋センタ ー連絡協議会総会	令和7年5月19日(月)	能勢町 淨るりシ アターホール	職員1名、宮津市 役所2名
砂ASO Beach in京丹後	令和7年7月6日(日)	京丹後市蒲井浜 海岸	職員1名視察
京都地域海洋センター連絡 協議会 リーダー研修会	令和7年8月30日(土)～ 8月31日(日)	宮津市B&G海洋 センター艇庫	B&G所長、職員1 名
B&G指導員資質向上研修 会	令和7年9月6日(土)	宮津市B&G海洋 センター艇庫	職員2名
近畿ブロック地域海洋センタ ー連絡協議会担当者会議	令和7年11月20日(木)	能勢町 淨るりシ アターホール	職員1名、宮津市 職員2名
第6回全国指導者会総会	令和8年2月25日(水)～ 2月26日(木)	東京国際フォーラ ム	職員1名